

放蕩息子

ルカ15：11－24

ほうとう、いみ
 ‘放蕩’の意味って知ってる？

→思うままにふるまうこと、あそんでばかりいること、わがまま なんだって！

1. お話の順番どおりになるように番号をつけましょう。(1～5番)

- () 息子はもらった財産をお金にかえて遊びほうけた。
- () 町にききんがおこった。
- () 息子はお金がなくなったので、豚の世話をする仕事についた。
- () お父さんが死んだらもらえる財産を今ください！とお願いした。
- () 豚の食べるいなご豆を食べたいほどおなかが、すいていた。

2. ‘お父さんの所へ帰ろう’と思った時の息子のきもちをえらんでね。

- () あっ、お金がなくなったから、もう一度お金をもらいに帰ろう！
- () とってもみじめな気分だなあ～
- () おいしい、ほうとうが食べたいなあ～
- () ぼくは、お父さんのお金を使い果たしてなんてバカなことをしたんだ

3. 19節を読んでお父さんは息子(弟)の事をどう思っていたと思いますか？

- () オレのお金を返せっ！このバカ息子！と思った。
- () ちゃんと元気でやってるかな？風邪をひいていないか心配だ。
- () 息子が大金持ちになって、財産の倍額を返してもらおう！と思った。
- () いつ帰ってきてもいいように、ここで待ってよう。

4. 20節を読んで、あなたが放蕩息子だったら、どんな気持ちになりますか？

5. 放蕩息子のお父さんのように、あなたが、神様の事を忘れた時も、心が離れている時もずーっと愛して待って来ています。そんな神様に自分の気持ちを祈りしましょう。